

saveMLAK

ニュースレター

第 56 号

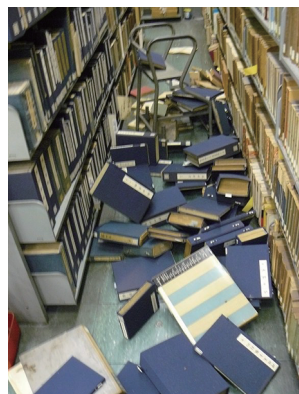
このたびの大阪北部地震並びに7月の豪雨災害によって被災されたみなさまに、お見舞い申し上げます。saveMLAK のネットワークを通じて復興へのお手伝いをさせていただきますので、支援要請は pr@savemlak.jp までお知らせください。

ニュースレター 2018 年 8 月号では 6 月の大阪北部地震に関する記事を掲載し、7 月の豪雨災害については来月以降に掲載いたします。

大阪北部地震についての記録

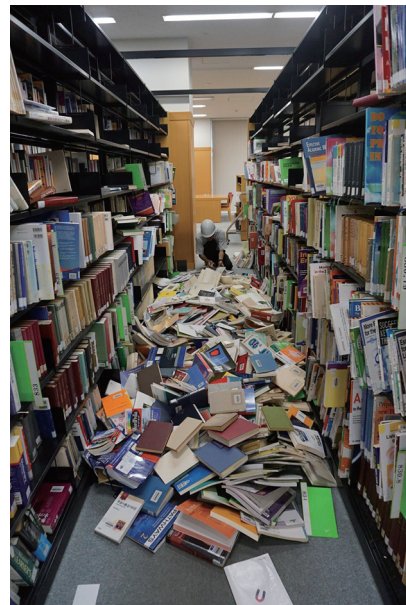
6 月 18 日午前 7 時 58 分ごろ大阪府北部で震度 6 弱の地震が発生しました。この地震による図書館への被害について、いち早く Twitter を通じて情報発信した 2 館のことを紹介します。

その 2 館とは、大阪府立中之島図書館と大阪大学附属図書館です。両館は地震発生後直ちに被害状況を撮影した写真を Twitter で公開し、当分の休館を伝えました。両館の情報発信の速さは特筆すべきで、中之島図書館は当日 9 時の開館時刻直後にはすでに休館を伝え、11 時過ぎには書庫内で落下散乱する図書の状況を伝える写真を何枚も発信しました。



大阪大学附属図書館は 8:41 の時点で附属図書館 4 館の閉館を Twitter で告知しました。また、同日中には英文による臨時休館の告知も Twitter で情報発信されました。翌日には復旧作業の状況が写真付きで発信されています。何枚も投稿された写真のうち、次の 1 枚にご注目を。

散乱する図書を片付けるスタッフはヘルメットを被っています。いつ余震があるかもしれない状況でこれは当たり前といえば当たり前ですが、このように非常用の装備が準備されており、ただちに着用できたというのは日ごろの防災意識の賜物といえます。



2 館に共通していることは、いち早い情報発信と、休館の決断。そして、書架の状況を写真で発信することによって、「休館やむなし」と利用者が納得できるだけの材料を提供している点でしょう。

また、両館とも復旧作業についてボランティアを募集していません。これについては、以下のことが考えられます。

- ・ボランティアを募集するに及ばず。自館のスタッフで復旧可能と判断
- ・余震の可能性のある状況で、ボランティア募集は危険

実際、大阪大学附属図書館では自館スタッフのみで復旧が可能と判断されたとのことでした。

大きな地震が起きるたびに、書架の据え付け状況を再確認することが必要となりますが、震災が起きる前に日ごろから備えておきたいものです。また、いざ震災が起きたときには、その規模にもよりますが、「いち早い開館」を目指すことが危険な場合もあり、慎重な対応が必要となります。

saveMLAK では東日本大震災以来の教訓や記録をサイト内に掲載しています。ぜひ参考にしてください。次の災害は必ずやってきます。その日のための備えを、平時から行いましょう。

(写真はいずれも両館の Twitter から許可を得て転載)

【谷合佳代子／エル・ライブラリー】

次ページへ
つづく

saveMLAK 第7期 2017 年度決算報告

5月11日、2017年度決算を監査した結果、報告書のとおり間違いはないと確認されました。以下、一部を整理して掲載します。決算報告書原本は saveMLAK のサイトで公開します。

【ファンド係：赤塚 昌俊】

活動計算書（損益計算書）

2017年4月1日～2018年3月31日（単位：円）

I 経常収益	
1. 受取寄付金	42,601
2. 事業収益（グッズ売上）	35,400
3. その他収益（受取利息）	4
経常収益計	78,005
II 経常費用	
1. 事業費	
通信費	98,976
広報費	12,960
支払手数料	864
事業費 計	112,800
2. 管理費	
管理費 計	0
経常費用計	112,800
当期正味財産増減額	△34,795
前期繰越正味財産額	750,638
次期繰越正味財産額	715,843

貸借対照表

2018年3月31日現在（単位：円）

I 資産の部	
資産の部合計（現金・預金）	715,843
II 負債の部	0
III 正味財産の部	
前期繰越正味財産額	750,638
当期正味財産増減額	△34,795
正味財産の部合計	715,843
負債・正味財産合計	715,843

5～7月の出来事と今後の予定

2018年5月24日

- 第87回 saveMLAK MeetUp を実施 複数拠点（東京ほか）をつないで開催。

2018年6月24日

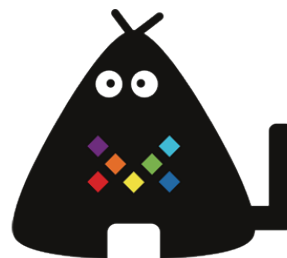
- saveMLAK 報告会 2018～社会教育・文化施設の救済・復興支援～ [第1部：第88回 saveMLAK MeetUp / 第2部：この7年間の振り返りと今後の活動について議論] を実施 複数拠点（東京、大阪）をつないで開催。

2018年7月25日

- 第89回 saveMLAK MeetUp を実施 複数拠点（東京、大阪）をつないで開催。

2018年8月23日

- 第90回 saveMLAK MeetUp を実施予定。



編集後記

6月の大阪府北部地震、7月の豪雨災害で亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたします。被災された方々にお見舞い申し上げます。

近隣に豪雨で被災した図書館や学校があり、何ができるかまだ具体的な手立てがありませんが、今後の復興に向けて何らかの役に立てればと考えている次第です。

【今号編集担当：久戸瀬 瑞季】

編集発行：saveMLAK プロジェクト

発行日：2018年8月21日（第56号）

発行所：神奈川県横浜市中区相生町3-61 泰生ビル

さくら Works <関内>408

アカデミック・リソース・ガイド株式会社内

saveMLAK プロジェクト

E-mail: pr@savemlak.jp

URL: <http://savemlak.jp/>

